



みみ

耳よい

# メール

国立病院機構 相模原病院 広報誌  
平成28年3月31日号  
発行：国立病院機構 相模原病院  
発行責任者：金田 悟郎  
住所：相模原市南区桜台18-1  
電話：042-742-8311（代表）  
F A X：042-742-5314

第70号



「桜は、背景が青空だと映えますね。」（撮影：リハビリテーション科医長 丸谷 龍思）

## 第70号 目次

- ◆特別寄稿「“異動”に思うこと」…………… 2
- ◆「相模原病院の思い出」…………… 3
- ◆「小児食物アレルギー行事食をご紹介します!!」 4.5
- ◆「桜が満開です」…………… 6
- ◆国立病院総合医学会特集  
「SMART ZOOMコリメータを  
使用したcardio REPOの検討」… 7

### 連載 近隣協力医療施設の紹介コーナー

相模原市南区「上鶴間ファミリークリニック」… 8



SAGAMIHARA  
NATIONAL  
HOSPITAL

私たちは患者の皆さまの  
人権を尊重し、  
十分な説明と同意に基づ  
き親切で心のこもった医  
療を提供します。

## 特別寄稿「“異動”に思うこと」



元相模原病院院長(第11代)  
大阪警察病院 院長  
越智 隆弘

年度の節目に起きる“異動”に関わるたびに、改めて感慨深く考えます。私は当時の厚生省が国のアレルギー・リウマチ臨床研究センターを新設する国立相模原病院への異動を求められ困惑しましたが、流れに任せる肚を決めました。大阪で築いてきた臨床の場、研究グループなどとの関係が断たれることは、自分のライフワークの終わりを意味したものだと言っていました。

平成12年12月に、私は阪大医学部長在任中でしたが国立相模原病院臨床研究センター長を併任し、その後、平成15年3月から同院の病院長専任になりました。病院内でも、医師会や防災関連の相模原市の集まりでも知らない人ばかりでした。名刺をお渡しすると「あっ、先日の会で頂きましたけど。」と言われる場合も多かったのですが、まだ自分が覚えていない方には「御一人に10枚くらいお渡ししようと思っています。」などと言って名刺交換して頂きました。

勤務後に居酒屋で飲む酒は格別でした。柁の中に立てたグラスに日本酒を「モトトト」と溢れるまで入れての美味しい酒でした。病院の職員の方々との接点も増し、気持ちの救いを得た有難い場所でした。居合わせた組合幹部の方から病院の経営指数改善の案を貰ったこともあり、夏になって、広い病院の敷地に、職員の子供さんや家族、近隣の人々、患者さんも自由参加で夜店をだして、中央に屋台を組んでライブを楽しむ場面には驚きました。相模原にもすっかり馴染んで楽しんでいたとは言えるもの

の、目の前の事だけを何とか乗り越えるのに精いっぱい毎日でした。「石の上にも三年。」というのは名言だなあと思いながら月日が過ぎ、定年退職が間近になると全てが美しく見えてきました。出勤途上で自転車に乗ってすれ違った労組のオルグの人達から、

「おはようございます。辞められる前にもう一度団体交渉をやりませんか。」

「いいねえ。やろうか。」

これは事務部長から「とんでもない。」と断られました。

あれから8年、先日もあの時のメンバーとあの居酒屋でタイムスリップしたひと時を楽しみ異動を顧みしました。大阪で長年築いた多くを異動によって切り離されスリムになった分だけ、異動先で新たに身についた部分が多かったように思いました。関連学会の方々や、厚生(労働)省の官僚の方々との接点なども増し、そのまま大阪に居たのでは得られなかった多くの人々ともお付き合いさせて頂きました。異動は運命の流れであり、そして得た新しい人間関係の広がりには大きな財産として残ってゆくことを実感しています。



越智院長在任中には、平成16年の独立行政法人化もありました。



## 「相模原病院の思い出」

前事務部長 大島 宏一

私は、平成25年4月から3年間、国立病院機構相模原病院にお世話になり、平成28年3月をもって退職しました。この間の思い出をいくつかあげてみたいと思います。

まず、転勤早々の平成25年4月、中国において鳥インフルエンザが発生したため、外来患者さんに滞在歴の申し出をお願いしたり、相模原市からは、帰国者・接触者外来の設置の準備の依頼があるなど、院内の体制を整えるためにバタバタとしました。最終的には、日本で患者さんの発生はありませんでしたが、新型インフルエンザ等対策政府行動計画などが策定されることとなりました。その後、平成26年1月には、全ての医療機関に新型インフルエンザ等発生時における診療継続計画の作成が求められ、当院でも院内の関係部署が協力して急いで作成することになり、同年2月には、完成しました。

また、神奈川県医療救護計画に基づいて大規模災害発生時に災害拠点病院をバックアップし、傷病者等の受入等の医療救護活動を行う“神奈川県災害協力病院”の指定を受けるべく、平成25年10月頃から準備に入り、院内の体制を整備して翌年2月に申請し、3月に指定を受けました。

その後、平成26年11月にはリニアック棟が完成し、平成27年7月から稼動を開始しました。

また、国立病院機構は平成16年4月に国家公務員の身分を有する独立行政法人として発足しましたが、平成27年4月から、独立行政法人通則法の一部を改正する法律並びに同法の施行に伴う関係法律の施行に伴い、一定の自主性及び自立性を発揮しつつ、国民の需要に的確に対応した多様で良質なサービスの提供を通じた公共の利益の増進を推進することを目的とする中期目標管理法となりました。

たんぽぽ保育園については、病院西側にあった職員宿舎のF棟を解体し、新保育園建築のための用地として確保、平成27年2月から新保育園の建設を開始し、同年10月に完成しました。同月に開園式、引越を行い、11月2日から園児が新保育園に移り実際に使用が開始されました。今では、新保育園に園児の元気な声が響いています。

また、平成28年4月1日から平成32年3月31日までの間、数多くの職員の努力により10年来の懸案であった神奈川県がん診療連携指定病院に指定されました。

これらの仕事に関すること以外で、当院では、春秋のバーベキュー、夏の納涼祭、年末の大忘年会などの院内行事があります。それぞれが楽しいものですが、その中でも思い出に残っているのが、平成25年の大忘年会です。私が余興でマジックを演じることになりました。ところが、マジックのネタを忘れるやらマジック道具を転んで落とすやらで大失敗をしてしまいました。それからはマジックをやるのが怖くなりましたが、それも今では楽しい思い出となっています。



華麗なる妙技を披露…するかにみえたが…

他にも色々ありましたが、相模原病院での3年間は、思い出多い心に残る3年間でした。

相模原病院は今後、新外来管理棟の建築に着工し、新たな顔の病院として地域医療に貢献していくものと思います。未来に向けての当院の発展を祈りつつ見守りたいと思います。



## 小児食物アレルギー行事食をご紹介します!!



当院では小児食物アレルギー食も季節ごとに行事食を提供しております。子供たちの笑顔に励まされながら、日々新しいレシピを考案中です。今回は2月の節分、3月の桃の節句に提供した行事食をご紹介します!!

### 2月 節分

## 赤鬼ご飯プレート



### \* 赤鬼ご飯プレート

(ケチャップライス・ほうれん草・ヤングコーン・海苔・人参)

★金棒ナゲット(鶏ひき肉・米粉)

\* けんちん汁(里芋・大根・人参)

\* ポテトサラダ

(じゃが芋・きゅうり・レタス・ミニトマト)

\* みかん

※鶏卵・乳・小麦ビーナッツ・ナッツ等除去メニュー

節分は主役の「赤鬼」をモチーフにしたワンプレートごはんを主役としました。赤鬼はケチャップライス、頭はほうれん草、角はヤングコーン、金棒は米粉でカリッと仕上げたチキンナゲットです。ユニークな顔の鬼を見るなり子供たちも大喜びでした!!



### かなぼう 金棒ナゲットの作り方

<p><b>材料(1個分)</b></p> <p>鶏ひき肉 40g 食塩 0.5g こしょう 少々 米粉 8g (大さじ1弱) <small>※当院で使用している米粉は、原材料に大豆を含みます。</small> アレルギー用マヨネーズ 8g (大さじ1/2) コーン(缶詰) 10g アレルギー用ケチャップ 6g (小さじ1)</p>	<p>①ボールでコーン、ケチャップ以外の材料を粘りが出るまでよく混ぜる</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"> <small>よく混ぜる事により、ふっくら柔らかく仕上がります!</small> </div> <p>②①にコーンを入れ、混ぜ合わせる</p> <p>③成形後、オーブンに入れ200℃で20分間加熱する</p> <p>④お好みでケチャップを添える</p>
---	--



相模原病院 栄養管理室



## 3月 桃の節句

## ひな祭りご飯



### \*ひな祭りご飯

(桜でんぶ・鶏そぼろ、  
人参・絹さや)

\*すまし汁(菜の花・しめじ)

\*さわら照り焼き

野菜ソテー  
(ブロッコリー・コーン)

\*野菜の煮物(里芋・人参・椎茸)

\*黄桃

※鶏卵・乳・小麦ヒーナッツ  
ナッツ等除去メニュー



ひな祭りは「ひし餅」をイメージした3色ご飯を主役にしました。

上段の桃色は桜でんぶで色付けし、真ん中には白米を、下段は緑色が一般的ですが、子供たちも食べやすい鶏肉のそぼろご飯にしました。

## ひな祭りご飯 の作り方

### 《材料》

ご飯	200g
桜でんぶ	5g(小さじ2)
鶏ひき肉	30g
a 砂糖	2g(小さじ1/2)
醤油(アレルギー用)	3g(小さじ1/2)
人参(花形)	1枚
b 昆布だし	少々
砂糖	少々
食塩	少々
絹さや	1枚

※ご飯の量は1~2歳は100g、  
3~5歳は150g、6~9歳は180g、  
10~15歳は270gが目安です。

- ①aで鶏ひき肉を炒め、そぼろを作る
- ②bで人参を煮る
- ③絹さやを塩茹でし、斜め半分に切る
- ④3等分にしたご飯の1つに桜でんぶ、  
1つに①を混ぜる
- ⑤成形しやすくするため、茶碗にラップ  
をしき、桜でんぶご飯、白ご飯、  
鶏そぼろ、ご飯の順に平らに重ねて  
入れる
- ⑥⑤をお皿に開け、ひし形に成形する  
(内側にラップをしいた牛乳パックでも代用できます)
- ⑦②と③を飾る



## 「桜が満開です」

リハビリテーション科 医長  
丸谷 龍思

桜が満開です。

相模原病院の敷地内の桜も、3月下旬ごろからチラホラと咲き出しています。一方、外来棟から病棟への通路では、いち早く“屋内の桜並木”が満開となっています。



屋内の桜並木



この“屋内の桜並木”は、管理課職員の石垣さんと桜の話をしている中で、「桜の写真、ありませんか？」と聞かれて10枚くらい渡したところ、もっともっとと話が大きくなり、結局50枚近くの写真を提供することになり…その写真をレイアウトしたものです。

皆さんもそうだと思いますが、私も桜が大好きです。5～6年前から病院の敷地内や自宅近くの桜を、定点観測のようにずいぶんたくさん撮影してきました。私は写真のプロではありませんが、自分が撮影した写真を気に入っています。

“屋内の桜並木”の写真の中には、私の家の近くの川崎市鶴見川クリーンセンター、町田市恩田川や伊東市伊豆高原の桜並木のソメイヨシノ、町田市高蔵寺近くの枝垂れ桜、町田市三輪緑山の八重桜を撮影したものもあります。



恩田川の桜（町田市成瀬）

また、同じ石垣さんが「相模原病院サクラ地図」を掲示して、敷地内の満開の桜や、その他私が撮りためていた写真をきれいにレイアウトしてくれました。



相模原病院 サクラ地図

この『耳よりいいメール』が皆さまのお手元に届くころには、まだ桜が咲いているでしょうから、是非、生の桜を鑑賞していただくと、オブジェを作成した石垣も、私としてもうれしい限りです。



## 【国立病院総合医学会報告】 「SMART ZOOM コリメータを 使用したcardio REPO の検討」

放射線科  
永井 亨弥

### ●背景

当院ではSMART ZOOMコリメータを用い、主に201TI製剤を使用して心筋血流シンチグラフィ検査を施行している。QGS解析を行う際、small heart症例の場合、心筋輪郭抽出が不正確となり左室容積が**過小評価**され、駆出率が**過大評価**される傾向がある。

富士フィルムRIファーマからリリースされた心筋血流解析ソフト (cardio REPO) は心筋輪郭抽出能が高く、**small heart症例における解析精度が高い**とされている。



当院の収集データを cardio REPOで解析し、small heart 症例の解析に生かすことはできないか？

### ●目的

SMART ZOOMコリメータを用いた201TI心筋血流シンチグラフィの収集データをQGSとcardio REPOで**左室容積、駆出率** (以下**EDV,ESV,EF**)について解析を行い、それぞれの**相関性**および**small heart症例の実用性**について比較検討することを目的とする。

### ●使用機器

- ・Symbia T16 (SIEMENS)
- ・QGS (Cedars Quantitative Gated SPECT Version 2009)
- ・cardio REPO (富士フィルム RI ファーマ)

### ●実験方法

#### 【実験①】

当院の読影医が正常と判断した 30 症例を QGSと cardio REPO で**EDV,ESV,EF**の解析を行った。

それぞれの結果から相関性について検討した。

#### 【実験②】

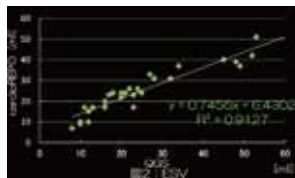
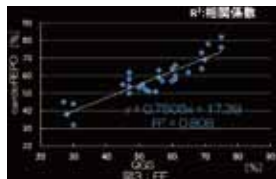
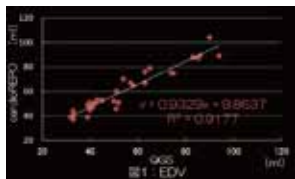
当院の読影医が左室容積過小評価、EF過大評価と判断したものと**ESV<20ml**を**small heart症例**とし、14症例について実験①と同様に**EDV,ESV,EF**の解析を行った。それぞれの結果から相関性について検討した。

$$EF = \frac{EDV - ESV}{EDV} \times 100$$

EDV[ml]: 拡張末期容量 ESV[ml]: 収縮末期容量 EF[%]: 駆出率

### ●結果①～正常な結果

正常例のEDV,ESV,EFの結果を図1～3に示した。



EDV,ESV は相関係数が **0.9** 以上  
EF の相関係数が **0.8** 以上



QGSと cardio REPO  
には**強い相関性**がある。

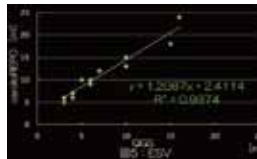
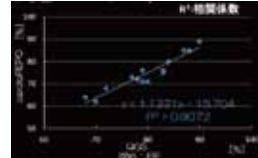
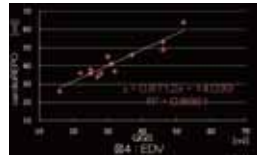
### 【コメント】

心筋血流シンチグラフィ検査で正常な心筋と小さい心筋 (small heart) について実験を行いました。現在使用しているものと、新しく開発された解析ソフトを使用し、EDV (拡張末期容量)、ESV (収縮末期容量)、EF (駆出率) の値を比較検討しました。

正常な心筋では各々が同等な結果が得られました。Small heartでも同等な結果となったが、有意差検定を行ったところ有意差あり、かつ全症例において新しいソフトではEDV,ESVは高くなり、EFは小さくなったことから解析精度が高いと示唆されました。

### ●結果②～small heart 症例の結果

Small heartの **EDV,ESV,EF** の結果を図 4～6 に示した。

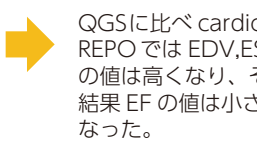


EDV,EF は相関係数が **0.9** 以上  
ESV の相関係数が **0.8** 以上



QGSと cardio REPO  
には**強い相関性**がある

・small heart 症例の **EDV,ESV,EF** の結果を表 1 に示した。



QGSに比べ cardio REPO では EDV,ESV の値は高くなり、その結果 EF の値は小さくなった。

### ●考察

#### 【正常例】

EDV,ESV,EF で強い相関が得られた。

→ 各々の解析ソフトで大きな差がなく輪郭抽出が行えたため、30 症例の間に強い相関性が生じたと考えられる。

#### 【small heart 症例】

EDV,ESV,EF で強い相関が得られた。

対象とした **14 症例すべて**において QGSに比べ cardio REPOでは **EDV,ESV の値は高くなり、その結果 EF の値は小さくなった。**

→ Wilcoxonの検定を行った結果、EDV,ESV,EF において有意差有りとなった。P<0.05

→ 201TI製剤におけるSMART ZOOMコリメータを用いた small heart 症例において、QGSに比べ cardio REPO の解析精度が高いことが示唆された。

small heart 症例において QGSに比べ cardio REPOの解析精度が高いことが示唆されたが…

#### ①RI の解析データ間での比較のみ

⇒LVG 検査の EDV,ESV,EF の値を基準としての比較

#### ②14 症例という少ないデータでの結果

⇒症例数を増やすことで本検討の信憑性の向上

→ 読影医と small heart 症例における解析データについて協議 (例)small heart 症例の解析時には cardio REPOを用いるなど

→ **心筋血流シンチグラフィ検査の質の向上**

### ●結語

SMART ZOOMコリメータを用いた 201TI心筋血流シンチグラフィの収集データを QGSと cardioREPO で EDV,ESV,EF について解析を行い、相関性と small heart 症例の実用性について比較検討を行うことができた。

small heart 症例における EDV,ESV,EF の解析を行う際には cardio REPOを使用できる可能性が示唆された。

連載

近隣協力医療施設の紹介コーナー



相模原市 南区  
「上鶴間ファミリー  
クリニック」

院長

井戸田 照義 先生

平成18年10月より上鶴間本町に開院して以来、地域に根ざした診療を目指し、今年で10年目を迎えることが出来ました。

当院は、内科・小児科の診療になりますが、高血圧や糖尿病といった生活習慣病から、インフルエンザ、風邪全般、喘息、花粉症など、来院された方お一人お一人の顔を拝見して診療を行っています。周囲が住宅街ということもあり、小さいお子さんから高齢者まで幅広い方に、ご来院いただいています。



また、相模原市の各種健診や、お子さんの予防接種、検診などにも対応しています。来院しやすい環境作りをスタッフ一同心がけておりますので、ちょっと様子がおかしいなあとか、こんなことで病院に行ってもいいのかなあと迷われることがあるかと思いますが、お気軽に安心してご来院ご相談にお越しく下さい。

相模原病院とは、CTやMRIなどの画像検査の依頼や、専門外来への紹介、逆紹介など地域医療の登録医として、相模原病院と連携を図るため協力させていただいています。外来予約や検

査予約も当院から直接出来るため多くの利用をさせていただいております。結果も迅速かつ的確な診断をしていただき大変助かっております。

最後に、これからもクリニックの名前のように、「ファミリー」で通っていただける地域に密着した皆さまのかかりつけ医として幅広く診療していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。



【上鶴間ファミリークリニック】

診療科：内科、小児科、アレルギー科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:00	○	○	—	○	○	▲	—
15:00~18:00	○	○	—	○	○	—	—

※受け付けは 午前＝8時50分から、  
午後＝14時50分からです。

※▲＝土曜日の診療は13時までです。

休診日：水曜日、土曜日（午後）、日曜・祝日

電話：042-767-5332

住所：〒252-0318

神奈川県相模原市南区上鶴間本町8-44-20

